

生産性倍増に向けた取り組み状況

(2021年度)

2022年6月 東京電力ホールディングス株式会社



目次

1 . 生産性倍増に向けた主な取り組み事例.....03

2 . 経営合理化の取り組み状況.....06



1. 生産性倍増に向けた主な取り組み事例

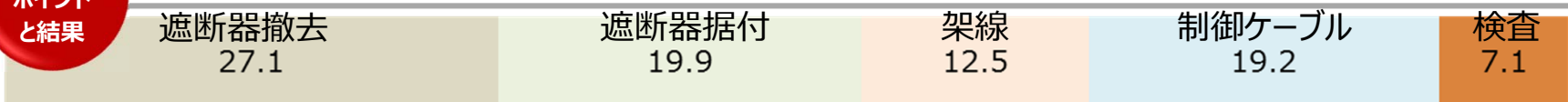
遮断器取替工事における工法カイゼン

東京電力パワーグリッド株式会社

遮断器取替工事における標準停電作業日数は4日間と長く、重要な系統では停電制約により停電調整業務の手戻りや、停電不調となった場合の設備損害リスクがあります。そこで停電作業日数を短縮させるため、停電内作業のカイゼンに取り組みました。

カイゼン
ポイント
と結果

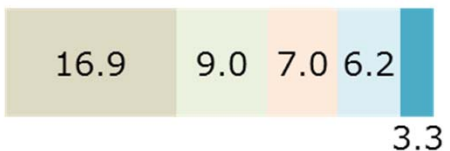
カイゼン前 80時間/台



単位：人時間

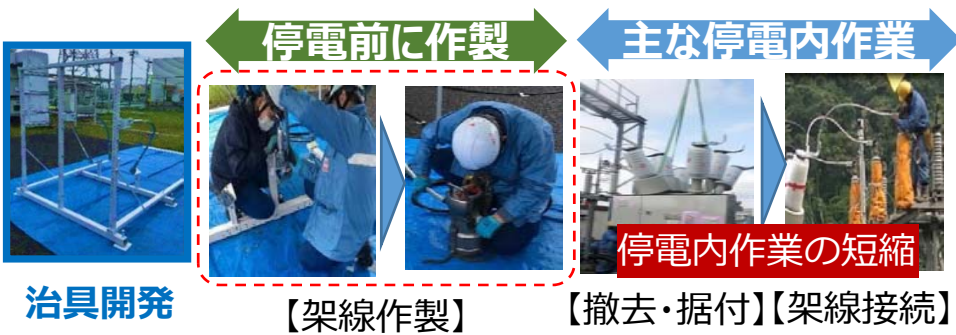
カイゼン後 5.5時間/台

1日停電作業実現

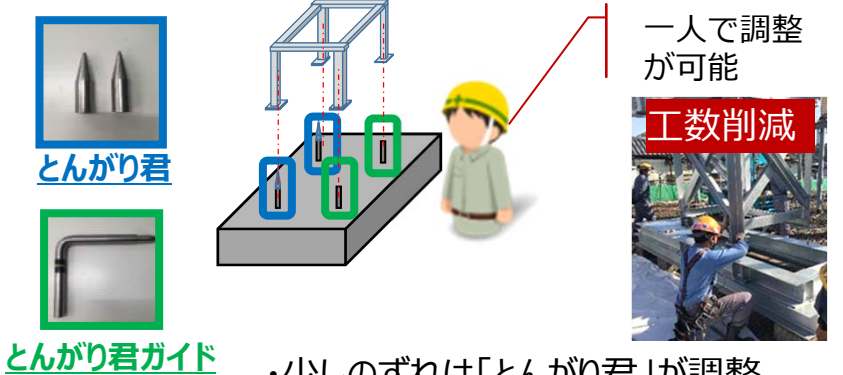


停電作業：80時間⇒5.5時間 (▲93%)
工数：45人日⇒8人日 (▲82%)

治具開発による架線作製の外段取り化



治具開発によるガス遮断器据付の一人作業化



- ・少しのずれは「とんがり君」が調整
- ・「とんがり君ガイド」を使って挟まれ防止

生産性倍増
プロジェクト

カイゼン
事例紹介
02

1. 生産性倍増に向けた主な取り組み事例

電柱建替工事における工法カイゼン

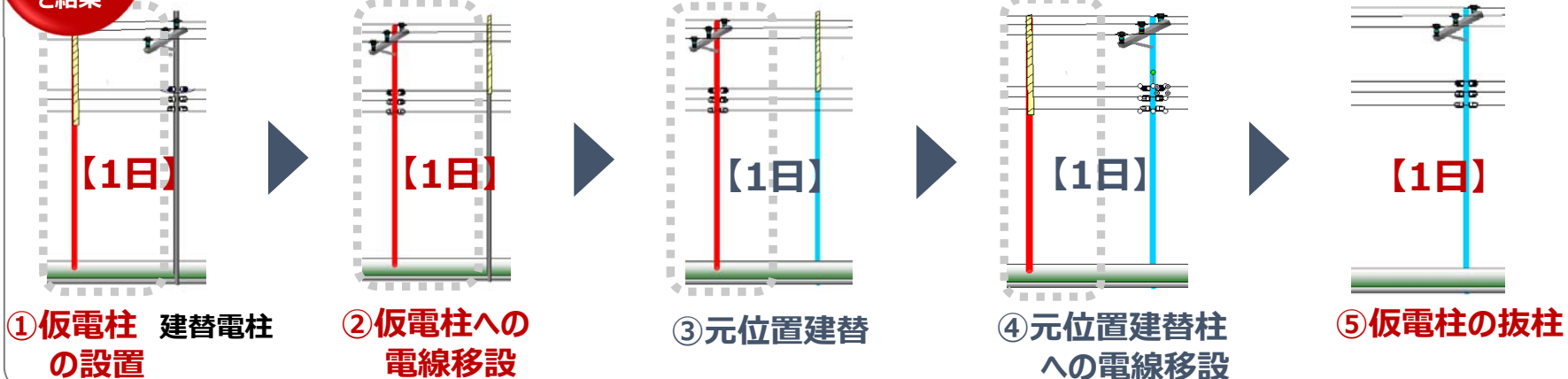
東京電力パワーグリッド株式会社

電柱建替工事において、元位置へ建替を行う場合、一旦、別位置に電柱を建設し電線を移設を行った後、元位置へ復元する手間が発生しておりました。

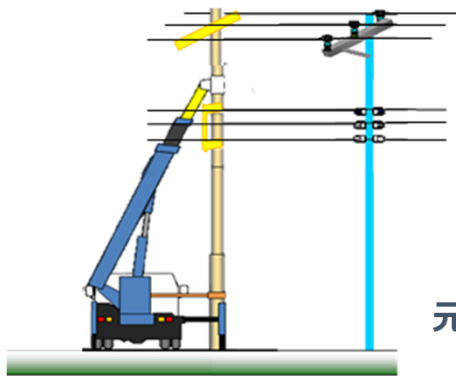
そこで、別位置への電柱建設工事を行わず、元位置のみの電柱建替を可能とする車両（元位置建替車両）を開発し、元位置建替工事時間の短縮を実現しました。

カイゼン
ポイント
と結果

カイゼン前 作業日数：5日



カイゼン後 作業日数：1日



【1日】
元位置建替および
電線移設

元位置建替車両



生産性倍増
プロジェクト

カイゼン
事例紹介
03

1. 生産性倍増に向けた主な取り組み事例

水中ドローンを活用した水中部ワイヤーロープ点検

東京電カリニューアルパワー株式会社

ドローンを活用した設備の点検カイゼンは徐々に増えてきておりますが、その中で、市販している小型汎用タイプの水中ドローンを活用したダムゲート設備の水中部ワイヤーロープの点検をカイゼンした事例を紹介致します。

カイゼン
ポイント
と結果

カイゼン前

ダム水中部のワイヤーロープ点検はダムの水を抜くか潜士が潜るかのどちらかで行うが、河川の維持流量を放流しているダムでの潜士点検は水流により吸い込まれてしまう危険リスクがある。

ゲート設備



ダム(放流中)

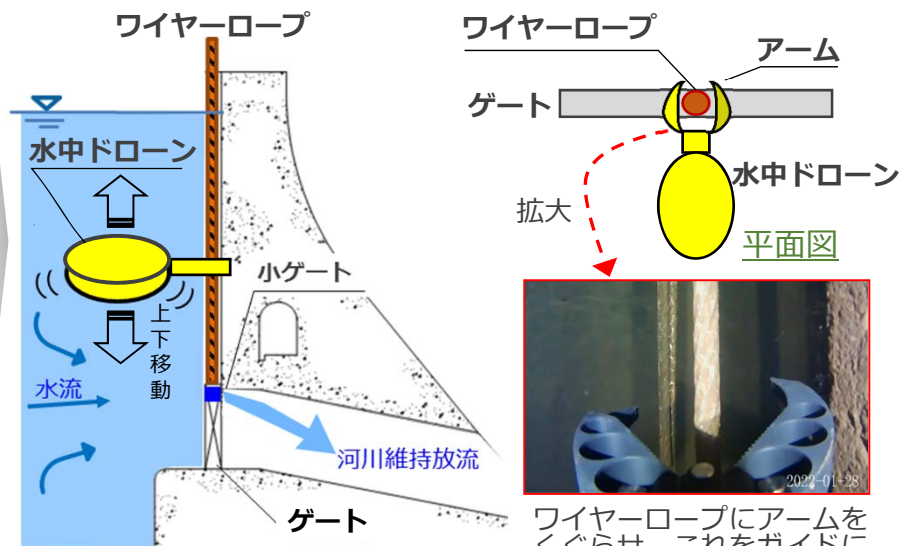


ダム断面図

水中部ワイヤーロープ点検

カイゼン後

水中ドローンを活用することで、ダムの水を抜くこともなく、潜士も委託する必要もなく社員がダムの上から点検できるようになり、安全に効率的にそしてコスト削減を両立。



ダム断面図

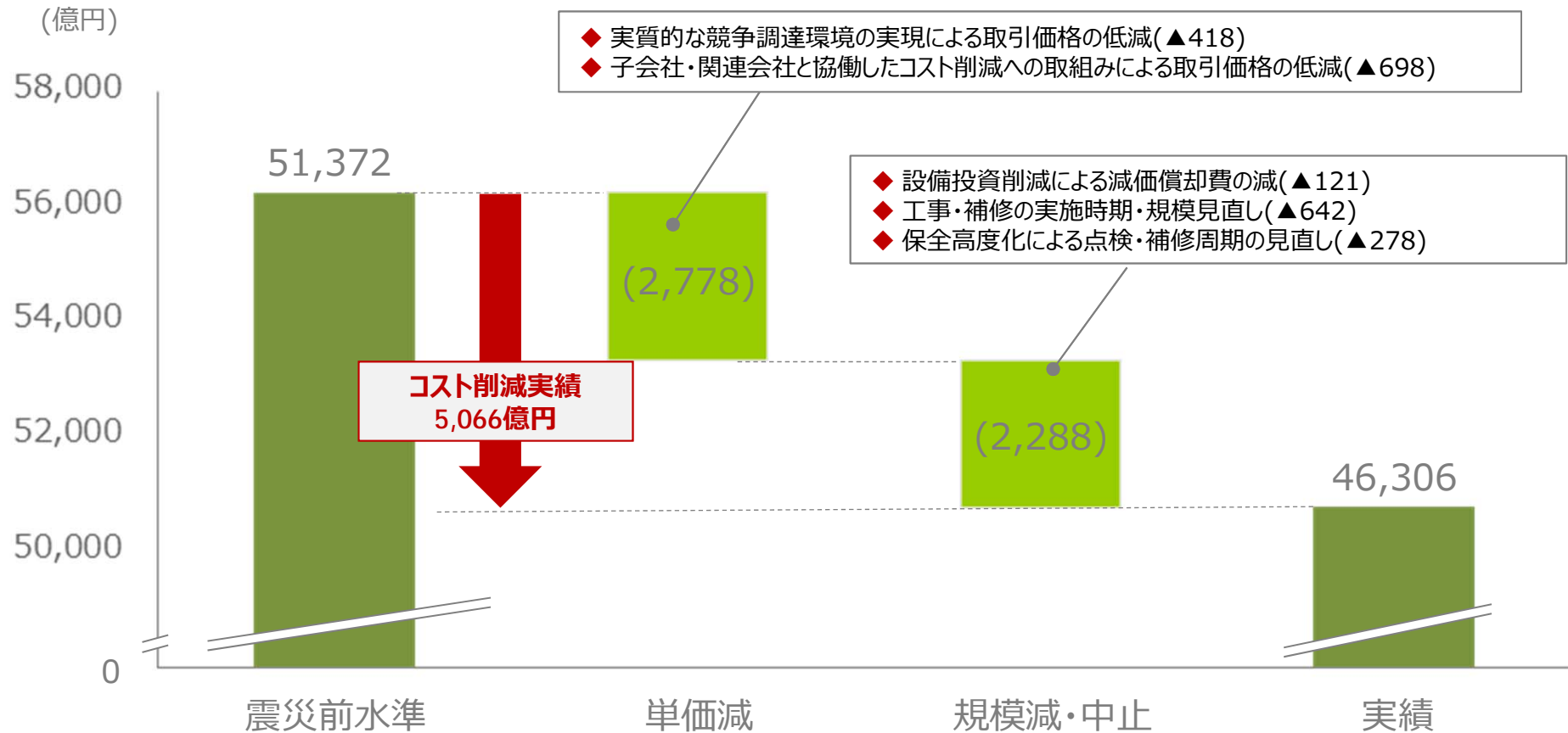
ワイヤーロープにアームをくぐらせ、これをガイドに上下移動しながら点検

2. 経営合理化の取り組み状況

2021年度のコスト削減実績と施策別内訳

◆ 2021年度のコスト削減実績は5,066億円であり、目標(3,683億円)を1383億円超過達成しました。

電気事業営業費用

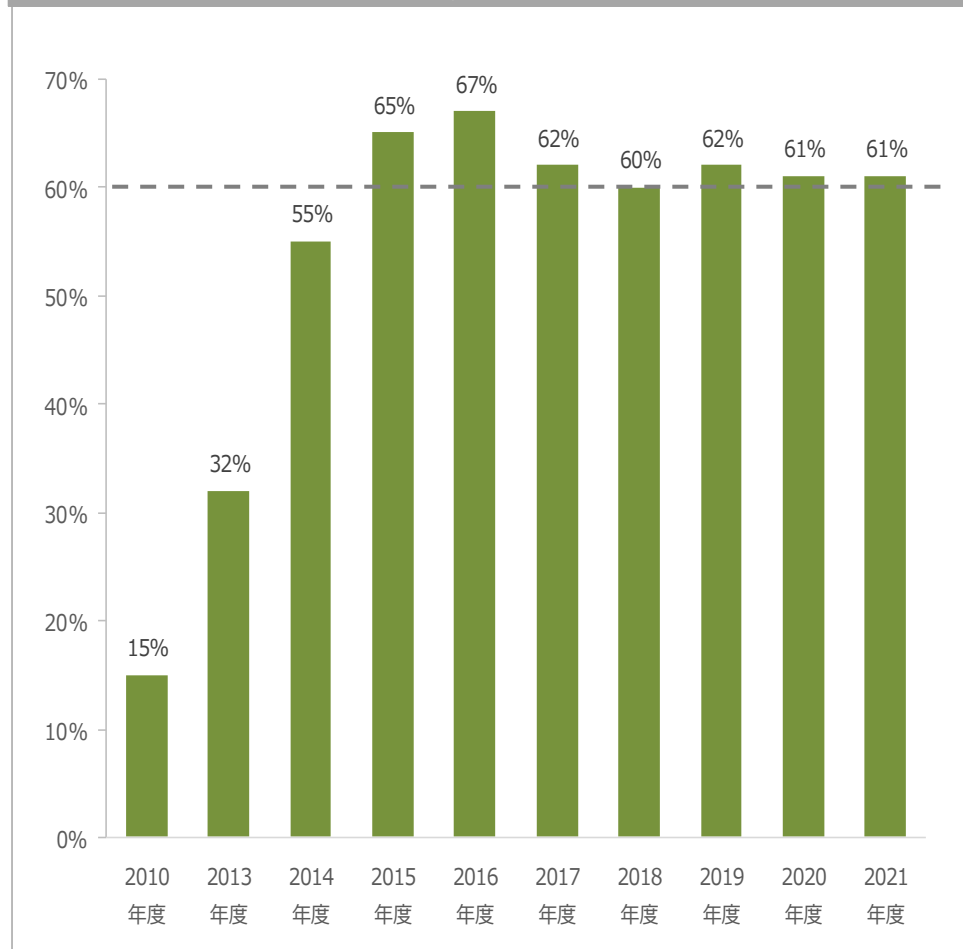


2. 経営合理化の取り組み状況

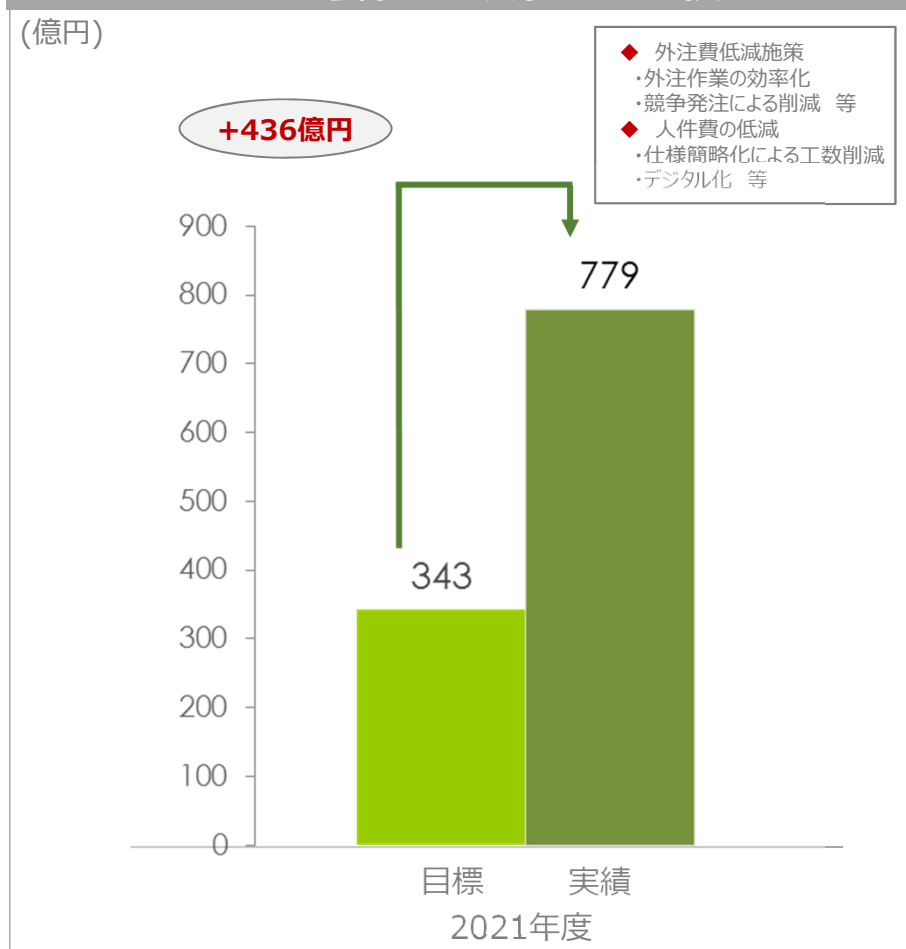
競争調達比率拡大・主要子会社のコスト削減実績

- ◆ 料金査定時の目標「2016年度までに競争発注比率を6割以上」については2021年度は61%と達成しました。さらなる原価低減に向け、競争発注に加え工事会社やメーカーとの協働カイゼンの取り組みを拡大してきております。
- ◆ 主要子会社のコスト削減額は、2021年度目標343億円に対し、436億円超過達成しました。

競争調達比率実績



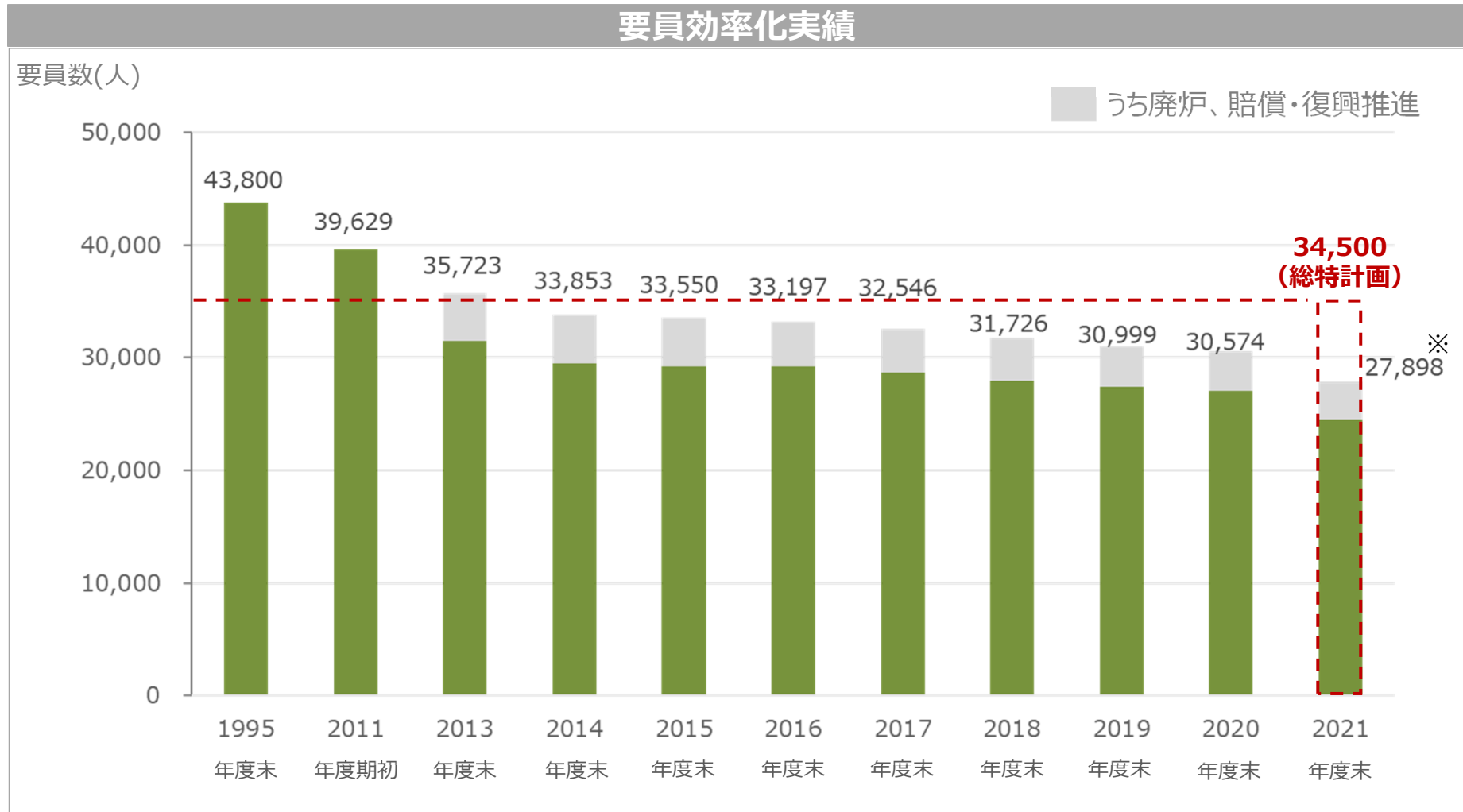
主要子会社のコスト削減実績



2. 経営合理化の取り組み状況

要員効率化について

◆ 「総特」における10年間の人員削減計画を前倒して達成した以降も、継続して効率的な事業運営に取り組んでおります。



※燃料・火力事業等における㈱JERAへの事業統合に伴う、同社への転籍影響（約2,300人）を含む